

# 安心・安全なまちづくり対策 特別委員会現場視察資料

学校及び通学路における安全対策について

平成29年2月20日  
教育委員会

# 目 次

頁

## 緑小学校の学校及び通学路における安全対策

1 緑小学校の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 取り組み状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### (参 考) 本市の学校安全対策事業の概要

(1) 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(2) 主な事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 緑小学校の学校及び通学路における安全対策

### 1 緑小学校の概要

- (1) 所在地 緑区鳴海町前之輪 2 4
- (2) 児童数 3 3 4 名 (平成 2 9 年 2 月 1 日現在)
- (3) 学級数 1 5 学級 (特別支援学級 2 含む)
- (4) 教職員数 3 6 名

### 2 取り組み状況

区 分	項 目	内 容
学校での 安全指導	防犯訓練	○ 全学年を対象に、緑警察署員による、不審者に遭遇したときの対処などの訓練を実施。また、職員を対象に、不審者の撃退法の研修
	防犯設備	○ オートロック機能付きの電子錠の設置 ○ 正門、東門、玄関、クラブハウス付近に防犯カメラを設置 ○ 職員室と各教室をつなぐインターホン、職員室に全校に一斉に放送ができる緊急放送機器の設置
	交通安全指導	○ 1年生を対象に、交通指導員が横断歩道の歩き方の訓練を実施 ○ 全学年を対象に、交通指導員と緑警察署員が自転車の正しい乗り方の講話や、危険を予測するトレーニングを実施 ○ 東海自動車学校の敷地にて、2・5年生を対象に、自転車による実地交通訓練を実施
	登下校	○ 毎日、学年下校を実施 ○ 通学路の路肩カラー舗装や歩行者用信号の時間設定の変更などによる通学路の安全確保

地域との連携による取り組み	見守り活動	○ 区政協力委員、女性会などで組織した安心・安全パトロール隊が、下校時に合わせて指定場所で見守り
	学区	○ 地域の方がボランティアとして、自主的に登下校を見守る活動に参加 ○ 緑学区広報誌「みどりだより」を作成し、学区の安全を啓発 ○ 子ども110番の家として、子どもたちを見守る活動に参加
	PTA	○ 毎日、保護者が各地域の決められた場所に立って声掛けや見守りをする旗当番活動 ○ 年3回、パトロールを行い、結果をもとに関係各署に改善要望。パトロール時、子ども110番の家等に立ち寄り協力依頼
	警察	○ より安全な登下校への意識を高めるため、ハンドアップ運動推進校の委嘱

## (参 考) 本市の学校安全対策事業の概要

### (1) 目 的

学校及び通学路における子どもの安全を確保するため、防犯教室の実施や施設の整備等に取り組むとともに、地域ぐるみで子どもを見守る活動を推進する。

### (2) 主な事業内容

区 分	内 容
「学校における防犯対策マニュアル」の徹底	○防犯教室の実施、来訪者の確認、在校時・登下校時の子どもの安全確保、防犯訓練や研修、保護者・地域の協力などを内容とする「学校における防犯対策」、「防犯マニュアル」を作成
施設・設備面における防犯対策	○不法侵入者を監視する防犯カメラの整備 ○不審者を取り押さえる「さすまた」の設置 ○防犯ブザーの小学校1年生への配付及び在学中6年間の携帯を啓発
通学路の安全点検	○各学校において、毎年度、通学路の危険箇所を把握し、関係機関へ対策について要望 ○重点調査小学校6校において、学校、警察署、土木事務所等による現地調査を行い、整備計画を策定・推進
スクールガードリーダーによる巡回・安全指導	○防犯の専門家である元警察官22名を「スクールガードリーダー」として委嘱 ○小学校周辺や通学路等の巡回点検、安全指導を実施
子ども安全ボランティアの支援	○地域の安全は地域の方々で守るという考えで「子ども安全ボランティア」として、登下校時の見守り活動を実施

区 分	内 容
「親子で歩いてつくる安全マップ」手引書の活用	<p>○ふだん通る通学路などの危険な場所に気付かせ、危機回避能力を育成することを目的に、親子が歩いて空家、空店舗などの危険箇所をチェックする安全マップを配付し、安全対策に活用</p>
学校安全緊急情報の伝達	<p>○「なごやっ子あんしんメール（緊急情報メール配信システム）」により、学校から保護者・地域協力者等の携帯電話へ不審者情報等を配信</p> <p>○近隣市町村を含めた緊急情報連絡網により、学校安全緊急情報を迅速に伝達し、子どもの安全を確保</p>